

各 位

豊橋市教育委員会  
教育長 山西正泰  
(公印省略)

## 豊橋市非常勤嘱託員採用試験の案内について

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、当市では別紙募集要綱のとおり、非常勤嘱託員(文献資料担当)の採用試験を実施することになりました。

つきましては、ご多用のところ誠に恐縮に存じますが、その周知等についてご高配賜りますようお願い申し上げます。

なお、採用試験要綱等につきましては、豊橋市美術博物館ホームページに掲載しておりますので、ご活用ください。

豊橋市美術博物館 HP アドレス (<http://www.toyohashi-bihaku.jp/>)

担当 美術博物館 美術・歴史グループ  
電 話 0532-51-2882  
FAX 0532-56-2123

## 令和元年度（令和2年度採用予定）

豊橋市非常勤嘱託員（会計年度任用職員）採用試験要綱  
文献資料担当

受付期間	令和2年1月14日(火)～令和2年2月10日(月) 午前9時から午後5時まで
試験日時	令和2年2月16日(日) 午前 10 時から

## 1 会計年度任用職員とは

地方公務員法第 22 条の2第1項の規定に基づき任用される非常勤嘱託員です。採用されると、一般職の公務員となり、服務規程（職務専念義務や守秘義務等）が適用されます。

## 2 採用予定職種、採用予定人員及び応募資格等

職 種	採用予定 人 員	応 募 資 格 ・ 条 件
文献資料担当	1名	学芸員資格を持ち、古文書の解説、史料集の編集ができる方

※ 学歴及び国籍は問いません。

※ 障害者の方の受験が可能です。申込みの際に、障害の内容・程度を報告してください。

## 地方公務員法第 16 条に規定する欠格条項に該当する方は採用されません

- ① 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの者
- ② 豊橋市職員として懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない者
- ③ 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

## 日本国籍を有しない方について

- ・ 就労可能な、適法である在留資格を有する方に限ります。

## 申込書類に虚偽の記載があった場合について

- ・ 申込書類に虚偽の記載があった場合は、採用されない場合があります。

## 3 勤務条件

嘱託期間	勤務時間等	業務内容	報酬月額	勤務場所
令和2年4月1日 から 令和3年3月31日 までの1年間	原則 9:00～16:00 (土・日・祝日、年末年始休み)	文献資料の調査・整理・展示及び史料集の作成	180,684 円	豊橋市美術博物館等

※ 上記、勤務時間や報酬月額は令和2年度の見込みです。なお、定期昇給制度はありません。

※ 勤務時間、休日は業務の都合(状況)により変更する場合があります。

※ 原則、所定労働時間を超える労働はありませんが、時期によっては有る場合もあります。

※ 休憩時間は原則 1 時間です。

※ 月額報酬の他に通勤手当に相当する費用弁償、期末手当が別途支給されます。

※ 採用された場合は、健康保険、厚生年金保険、雇用保険など社会保険に加入します。また、年次有給休暇、夏季休暇等各種休暇制度があります。

※ 嘱託期間は1年単位とし、引き続き業務の必要があり、勤務状況が良好な場合に限り、原則4回まで改めて任用する可能性があります。

## 4 試験内容及び結果通知等

### (1) 試験会場、試験内容

会 場	区 分	内 容
豊橋市文化財センター 講座室 (豊橋市松葉町3丁目1 0532-56-6080)	午 前	専門試験、 実技試験(古文書解読)
	午 後	面接

(注)実技試験に必要な古文書解読辞典は各自が持参してください(紙媒体に限る)。

### (2) 試験の結果通知

試験の結果については、受験者全員に令和2年3月上旬頃郵送にて通知します。

### (3) 健康診断証明書の提出

採用試験時(令和2年2月16日)に健康診断証明書(別紙様式)を提出していただきます。

## 5 試験結果の開示請求について

豊橋市個人情報保護条例に基づき、口頭で試験結果の開示を請求することができます。電話等では開示できませんので、受験者本人が運転免許証など本人確認できるものを持参し、直接豊橋市美術博物館にお越しください。

開示の内容	口頭で開示請求できる期間
総合点数及び総合順位	合格発表の日から1月間

## 6 応募手続

申込書の 交 付	(1)要綱及び申込書は、豊橋市文化財センター、豊橋市美術博物館、じょうほうひろば(豊橋市役所東館1階)で交付します。また、豊橋市美術博物館ホームページからダウンロードできます。 (2)郵送で請求する場合は、封筒に「非常勤嘱託員(文献資料担当)採用試験申込書請求」と朱書きしたうえ 120 円切手(定型の場合は 94 円切手)を貼付した宛先明記の返信用封筒を必ず同封し、豊橋市美術博物館まで送付してください。
-------------	--

申 込 方 法	郵送	《郵送先》〒440-0801 豊橋市今橋町 3-1 豊橋市美術博物館 《受付期間》令和2年2月10日(月)午後5時必着。
	持参	《提出先》豊橋市美術博物館(豊橋市今橋町 3-1) 《受付期間》令和2年2月10日(月)までの午前9時から午後5時まで。 (休館日は館正面右手から事務所へ。代理の方による持参も可能。)
提出書類		①豊橋市非常勤嘱託員(会計年度任用職員)採用試験申込書(文献資料担当)・自己PR書・受験票 ②写真(最近6ヵ月以内に撮影した上半身脱帽正面向き(横3cm×縦4cm)のものを申込書に貼付) ③受験票返送用定型(長形3号)封筒1通(84 円切手をあらかじめ貼付。受験票の送付に使用しますので返送を希望する宛先を明記してください。)
受験票の 交 付		郵送にて交付します。2月12日(水)までに到着しない場合は、2月13日(木)の午前中に、豊橋市美術博物館まで必ずお問い合わせください。

※郵送の場合は、配達証明郵便等、確実に配達されたことが確認できる方法で送付されることをお勧めします。また、諸事情により郵送に時間がかかる場合がありますので、余裕をもって投函してください。「採用試験受験申込み」と朱書きした封筒で送付してください。

## 7 その他

- (1) 申込受付後は、申込書、写真等一切の書類はお返しいたしません。
- (2) 関係書類が整っていない場合及び受付期限[令和2年2月10日(月)]後は受け付けません。
- (3) 試験当日は、必ず受験票を持参してください。
- (4) 採用は、原則として令和2年4月1日を予定しています。
- (5) 問い合わせ先 豊橋市教育委員会教育部美術博物館  
〒440-0801 豊橋市今橋町3-1 電話[0532]51-2882

受 付

豊橋市非常勤嘱託員(会計年度任用職員)採用試験申込書(文献資料担当)

受付番号

文献資料担当

第

号

写真貼付

(3.0cm×4.0cm)

令和 年 月 日撮影

本人現住所	〒	Tel( ) 局 自・呼・携番
上記以外の連絡先	〒	Tel( ) 局 自・呼・携番
ふりがな氏名		男・女 年 月 日生 (満 歳) ※令和2年4月1日現在

主な職歴	就職期間	名称・所在地等	雇用形態
	年 月 ～ 年 月		正規・非正規
	年 月 ～ 年 月		正規・非正規
	年 月 ～ 年 月		正規・非正規

資格(免許)取得(見込)年月日	資格・免許
年 月 日	普通自動車運転免許
年 月 日	
年 月 日	
年 月 日	

特技	例:語学、パソコンなど
健康状態	強健・普通・虚弱 (病名等: )

志望動機	

国籍 (外国籍の方)

上記のとおり申込みいたします。

なお、私は豊橋市非常勤嘱託員(文献資料担当)採用試験要綱 2①～③の各項目に該当しません。

また、この申込書のすべての記入事項に相違ありません。

令和 年 月 日  
豊橋市教育委員会 様

本人氏名(自筆)



# 非常勤嘱託員(会計年度任用職員)採用試験受験票(文献資料担当)

氏 名

性 別

☐男

☐女

\* 以下は受付時に係員がチェックしますので記入しないでください。

職 種

受付番号

文献資料担当

第 号

1 試験日 令和2年2月16日(日)

2 集合時間 午前10時

3 集合場所 豊橋市文化財センター

(豊橋市松葉町3丁目1 0532-56-6060)

## 注意事項

- 1 試験当日は、必ずこの受付票を持参してください。
- 2 試験当日は、鉛筆、ボールペン、消しゴムを必ず持参してください。
- 3 実技試験時に古文書解読辞典の持ち込みが可能です(紙媒体に限る)。
- 4 受付票に受付番号、受付印のない場合は直ちに申し出てください。
- 5 会場においては、係員の指示に従ってください。

豊橋市教育委員会 美術博物館

## 非常勤嘱託員（文献資料担当）採用試験場

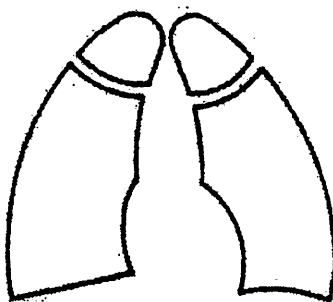
1、場 所 豊橋市文化財センター 講座室(2F)

(豊橋市松葉町 3 丁目 1 0532-56-6060)

2、交通機関 JR豊橋駅から北へ約600m、徒歩約5分(下図参照)



# 健康診断証明書

住 所						
氏 名		男・女	生年月日	年 月 日生		
身 長	. cm		胸 部 所 見	エ ッ ク ス 線 診 断	令和 年 月 日撮影 直接 間接	
体 重	. kg					
視 力	右	. ( )				
	左	. ( )				
聴 力	右					
	左					
検 尿	糖	( )	血 圧	/ mmHg		
	蛋白	( )	既往症			
その他の所見						
<p>上記のとおり証明する。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>診断者 住所</p> <p>氏名 印</p>						

\* 勤務先の会社等で今年度実施した健康診断による証明書でも可とします。  
ただし、上記検診項目がすべて実施されていない場合は、未検診項目についても検診の上、併せて提出してください。



このたび、広島大学は日本中世文学研究分野において、広島大学における「優れた大学教員の確保・育成のための方針～若手教員が安心して活躍する大学に～」に基づき雇用する教員1名（准教授、又は助教）を国際公募します。

この公募により雇用する教員の職名は、採用時の業績審査により、准教授（テニュア（終身在職権））、テニュアトラック教員（准教授、助教）のいずれかに決定します。

テニュアトラック教員として雇用された場合で、テニュアトラック期間満了までにテニュア審査に合格することを条件として、准教授としてテニュア（終身在職権）を取得できる新たなポストとなっています。新たな分野を切り開く研究計画提案のもとに、腰を据えて教育研究に専念していただくことを前提としています。

したがって、採用時の審査においては、それまでの教育研究業績の審査に加え、テニュアトラック期間に留まらず 10 年程度の中長期的な研究計画の内容について審査します。テニュア審査においては、その過程の到達度と将来の展望を加味して総合的に審査します。

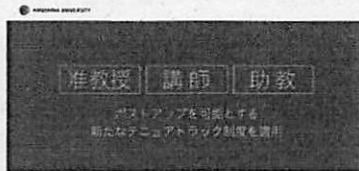
広島大学は、採用されたテニュアトラック教員に対して、スタートアップ支援経費の措置、メンター教員の配置等により当該教員が自立して研究活動を行うことのできる環境を整備する予定です。なお、テニュアが付与されなかった場合に、テニュアトラック期間の満了する日の翌日から1年を限度として、特任教員として雇用できる環境も整えています。

広島大学の理念、長期ビジョン、中期目標 (<https://www.hiroshima-u.ac.jp/about>) にご賛同いただき、広島大学の教育研究を背負ってご活躍いただける意欲のある方をお待ちしております。

広島大学長 越智光夫

広島大学の人事制度改革については、以下の URL 先をご覧ください。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo>



2020年1月14日

関係各位

広島大学大学院文学研究科長  
久保田 啓一（公印省略）

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、この度本研究科では、下記の要領で教員を公募することとなりました。

つきましては、関係者各位へ周知いただくとともに、適任者の推薦及び応募についてよろしくお取り計らい願います。

敬具

記

1. 所属（配属） 広島大学学術院（大学院文学研究科 日本・中国文学語学講座  
および、教育学部 国語文化教育学講座）

2. 職名・人員 准教授、又は助教 1名  
（採用時の業績審査により、テニュア教員（准教授）、  
テニュアトラック教員（准教授、助教）のいずれかに決定）

3. 採用予定年月日 2020年10月1日

4. 任期又は有期雇用契約期間 【テニュアトラック制適用の場合】

（テニュアトラック期間） 7年（准教授の場合）  
5年（助教の場合）

広島大学のテニュアトラック制に関する規則に基づき、テニュアトラック期間が満了する6月前までに准教授でのテニュアを付与するかどうかのテニュア審査を行い、これに合格すればテニュアを付与します。

テニュア審査は、中間審査及び最終審査により行います。なお、最終審査の結果、テニュアを付与しなかったときは、テニュアトラック期間の満了をもって退職となります。

また、テニュアトラック期間に出産・育児・介護のライフイベントがあった場合には、休業期間に応じテニュアトラック期間を一定期間延長することができます。

※テニュア審査基準の詳細については、お問い合わせください。

5. 専門分野 日本中世文学

6. 担当科目 教養教育科目：「日本の文学」「教養ゼミ」等  
学部（専門教育科目）：「国語文化基礎ゼミ」「国語文化の歴史B（国語文化の歴史）」「古代国語文化演習B」「古代国語文化研究B」

「国語文化研究法Ⅳ」「卒業論文」等

大学院（博士課程前期）：「日本古典文学注釈研究 C」「日本古典文学注釈研究 D」「日本古典文学解説研究 C」「日本古典文学解説研究 D」「特別研究」等

大学院（博士課程後期）：「特別研究」等（※博士課程後期における研究指導の資格がある場合。）

※この他、教養教育科目や他の学部・大学院の専門教育科目、全学事業も担当することがあります。

## 7. 応募資格

次の要件をすべて満たす者

(1) 博士の学位（外国において授与されたこれに相当する学位を含む。）を有すること。

(2) 准教授の場合は、著書（単著）1冊以上または論文10編（うちレフェリー付き論文3編以上を含む）以上の業績を有すること。

助教の場合は、論文3編以上の業績を有すること。

なお、いずれの場合も、広島大学における教員の採用最低基準（分野別）を満たすものとする。

※広島大学では教員の分野ごとに採用最低基準を定めています。

人事選考過程の第一次選考において本基準を適用し、最低基準を満たさない候補者を選考から除外いたします。本公募で適用する採用最低基準は以下の URL に掲載しています。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo/bungaku>

(3) 日本語で教育・研究指導および学内業務ができること。

(4) 大学院博士課程前期における教育・研究指導ができること。

(5) 国語教育に関して、興味・関心・理解があること。

## 8. 応募書類

(1) 履歴書（市販用紙を使用、写真貼付）

① 学歴・職歴・所属学会・住所・メールアドレス等を明記すること。

② 過去5年間に広島大学で雇用（TA, RA, 研究員等を含む）されたことがある場合は、漏らさず記載してください

(2) 研究業績一覧

① 著書・論文・その他（書評・翻訳・学会発表・招待講演等）を区分して各研究業績に番号を付け、一覧形式で記載すること。

② 審査付論文の番号にはアンダーラインを付けること。

③ 主要研究業績5点には番号の冒頭に\*印を付けること。

④ 学会発表に関しては、発表題目・学会等名・発表年・学会開催地を明記すること。

(3) 主要な研究業績5点（別刷又はコピー、著書）とそれぞれの概要（400字程度）

(4) 教育上の主要な業績

(5) 社会貢献に関わる主要な業績

(6) 大学等における管理運営に関わる主要な実績

(7) 最近5年間ににおける外部資金の獲得状況

(8) 研究・教育に対する抱負と中長期計画（2,000～3,000字）

(9) ResearcherID または ORCID 情報（様式任意）

(※Clarivate Analytics 社または ORCID web ページより取得が可能。)

※上記(1)～(9)の応募書類は日本語で作成し、紙媒体と電子ファイル(Word ファイルまたは PDF ファイル、CD-ROM または USB メモリに保存)の両方を提出すること。ただし、研究業績の現物のうち書籍については、この限りでない。

9. 応募期限 2020年4月10日(金) 17:00(日本標準時)(必着)
10. 応募書類送付先 〒739-8522 広島県東広島市鏡山 1-2-3  
広島大学大学院文学研究科長 久保田 啓一  
※封筒の表に「大学院文学研究科日本・中国文学語学講座教員応募書類在中」と朱書し、書留郵便で送付してください。
11. 選考方法 (1)書類審査  
(2)必要に応じて面接を行うことがあります。面接を行う場合は、原則として、模擬授業を行います。ただし、交通費等は支給できませんので、あらかじめ御了承ください。なお、書類審査通過者に面接を行う場合は、日時や形式について、別途連絡します。  
(3)広島大学は、男女共同参画を推進しています。本学は、「男女共同参画社会基本法」の趣旨に則り、業績(研究業績、教育業績、社会貢献等)及び人物の評価において同等と認められた場合は女性を採用します。
12. 勤務形態 (1)勤務時間 8:30～17:00(月～金)、休憩時間 12:00～12:45  
専門業務型裁量労働制の適用に同意した場合は、1日7時間45分、1週間38時間45分働いたものとみなされます。  
(2)勤務日は、原則として月曜日から金曜日(祝日を除く。)です。  
(3)休日は、原則として土曜、日曜、祝日となります。
13. 給与等 (1)採用になった方には、月給制又は年俸制が適用されます。  
※現在、新たな年俸制を検討しており、採用時点で新年俸制が導入されている場合は、新年俸制が適用されます。  
(2)採用となった方には、本学の規則に基づき、採用に伴う旅費を支給できる場合がありますのでお問い合わせ下さい。

【月給制適用の場合】

国、独立行政法人、地方公共団体又は国家公務員退職手当法に定める公庫等を退職後、引き続いて本学に採用される場合は、退職手当の算定の基礎となる在職期間は通算されません。法人化前の取扱いとは異なりますのでご注意ください。

なお、他の国立大学法人又は独立行政法人国立高等専門学校機構等を退職後引き続いて本学に採用される場合は、現所属機関に同様の定めがある場合に限り通算されます。

14. 評 価 本学の教員には、採用以降の業務実績について個人評価を行い、その結果を点数化し、処遇へ反映します。
15. 募 集 者 名 国立大学法人広島大学
16. そ の 他 (1)試用期間：あり（6月間）
- (2)応募書類により取得する個人情報、採用者の選考及び採用後の人事・給与・福祉関係に必要な手続に利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。  
なお、採用に至らなかった方の応募書類は、当該採用選考業務終了後、適切な方法にて返却いたします。
- (3)広島大学では全ての大学教員は「学術院」に所属し、学部、研究科、研究院、病院などの教育研究組織に配属されます。教員は配属された教育研究組織の教育・研究に従事することになりますが、教養教育科目や他の教育研究組織の教育・研究、全学事業を担当することもあります。
- (4) 広島大学では教員の分野ごとに採用最低基準を定めています。人事 選考過程の第一次選考において本基準を適用し、最低基準を満たさない候補者を選考から除外いたします。本公募で適用する採用最低基準は以下の URL に掲載しています。  
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo/bungaku>
- (5) 広島大学では本学の求人情報（研究職、事務職等）を提供しています。配偶者が就業を希望される場合等にご参照ください。  
求人情報：<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment>
- (6)本学は、世界ランキングトップ 100 に向けた本学の中長期的な成長を目指し、優れた研究人材の確保・育成を図るとともに、教員の年齢別構成の改善を図るため特に若手教員、女性教員及び外国人教員等の活躍の場を全学的に拡大し、教育研究を活性化していく予定です。このことを踏まえ、今回の公募は若手研究者の応募を希望します。
17. 問 い 合 わ せ 先 広島大学大学院文学研究科 日本・中国文学語学講座 妹尾 好信  
TEL:082-424-6668 FAX:082-424-6668  
E-mail:yseno@hiroshima-u.ac.jp

(別紙 2)

日本中世文学分野の新規採用のための最低基準

○准教授

- ・学位（着任時）：博士号所持
- ・研究業績：40 点以上

○助教

- ・学位（着任時）：博士号所持
- ・研究業績：20 点以上

※ 上記の研究業績の点数は、次の指標に基づいて算出する。

学術書（単著）

- (1) 国際学術誌又は下記の雑誌で書評の対象となったもの、出版助成を受けたもの、学会などの賞を受賞したものは、1 件につき 40 点。なお、外国語で執筆した場合は 10 点を加算する。
- (2) その他は、1 件につき 30 点。なお、外国語で執筆した場合は 5 点を加算する。

学術論文（単著）

- (1) SCI, SSCI, A&HCI, SCOPUS, Web of Science 論文は、1 件につき 20 点。
- (2) 下記の雑誌に掲載された論文、又は (1) 以外の国際学術誌に掲載された論文は、1 件につき 10 点。

※ 学術書の (1)、学術論文の (2) で言及した日本中世文学関連の雑誌は以下の通り。

解釈、軍記と語り物、芸能史研究、口承文芸研究、国語国文、国語と国文学、国文学解釈と教材の研究、国文学解釈と鑑賞、西行学、説話・伝承学、説話文学研究、中世文学、伝承文学研究、西日本国語国文学、日本歌謡研究、日本文学、能と狂言、仏教文学、文学、文学・語学、文芸研究、物語研究、連歌俳諧研究、和歌文学研究、和漢比較文学

Date: January 14, 2020

### Faculty Open Position

1. Affiliation (Appointment): Academy of Hiroshima University (Department of Japanese and Chinese Languages and Literatures, Graduate School of Letters, and Department of Japanese Language and Culture Education Major, School of Education)

2. Position and the number of opening: Associate Professor, or Assistant Professor , one (1)  
(Depending on the result of the performance reviews of the applicant at the time of employment, he/she may be decided on any of the following titles: Associate Professor with tenure; Associate Professor/Assistant Professor on Tenure Track System)

3. Commencing date of employment: 1st October, 2020

#### 4. Terms of employment

Tenure-track position

Period of employment:

- 7 years (in case of Associate Professor)
- 5 years (in case of Assistant Professor)

Tenure-track faculty members will undergo a tenure review within six (6) months prior to completion of the term of appointment, and those who have successfully passed the review process will be granted tenure along with promotion either to associate professor.

Granting a candidate for tenure is subject to two reviewing process: an intermediate and final review. If a candidate is not granted tenure in final review, he/she will be dismissed from the university upon completion of the term of appointment.

If a candidate has taken a leave because of some life events such as delivering a baby, child-raising and caregiving, he/she may extend the term of appointment up to certain period according to the length of such leave.

\* For particulars, please contact Prof. Yoshinobu Senoo.

5. Field of specialization: Japanese Medieval Literature

#### 6. Teaching responsibilities

- Undergraduate level (general education courses): Japanese Literature, Introductory Seminar for First-Year Students etc.
- Undergraduate level (discipline specific courses): Fundamental Seminar of Japanese Language Culture, History of Japanese Classics B (History of Japanese Literature),

Hiroshima University (HU) herewith makes an open international job offer and seeks to appoint Associate Professor with Tenure; Associate Professor/Assistant Professor on Tenure Track System in the research area of Japanese Medieval Literature. This position is based on the 'Policy for recruiting/cultivating excellent faculty members'. The university introduced this policy to create a secure environment in which junior-positioned faculty members can concentrate on their research/education.

The job title of the recruited member shall be decided into either of the following, depending on the examination result of his/her research/education performance at the time of recruitment: Associated Professor (tenured position) or a Tenure-Track Faculty Member (either as an Associated Professor or an Assistant Professor). In case you are recruited as a tenure-track faculty member and you pass the tenure-track examination before your tenure-track period expires, then you will become eligible for a new tenured position with a title of Associated Professor. Such system assumes that the recruited person will settle down in one place so that he/she can dedicate himself/herself to research and education, in accordance with his/her proposed research plan that is intended to bring about a breakthrough in the new research area.

Therefore, when processing an application for recruitment, we evaluate not only each applicant's performance on research/education, but also the contents and the scope of his/her research plan. Thus, we assess whether or not the applicant's research plan is mid-to-long term (i.e. about 10 years) in scope, exceeding the tenure-track period. At the time of the review for the tenured promotion, we comprehensively evaluate the applicant's achievements during his/her term at HU and the future prospect of his/her research.

By providing startup support money and assigning a mentor to each newly-recruited faculty member on tenure track, HU continues to develop an environment where such faculty member can engage himself/herself in research activities independently. In case the recruited member does not secure tenure, he/she will be able to extend his/her term of employment for up to one year as a specially appointed faculty member. The special appointment starts on the day following the end date of the existing employment contract for the tenure-track position.

We are looking forward to welcoming those who are prepared to go along with the principles, long-term vision and medium-term target of HU (<https://www.hiroshima-u.ac.jp/en/about>), and who are motivated and can play key roles by committing themselves to research and education at HU.

Mitsuo Ochi, Preside Hiroshima University



Seminar of Japanese Language Culture B (Japanese Classics), Studies of Japanese Language Culture B(Japanese Classics) ,Methodologies for Studying Japanese Language Culture VIII, Graduation Thesis, etc.

- Graduate level (master's programs): Study of Japanese Classics Literature C, Study of Japanese Classics Literature D, Study of Reading of Japanese Classics Literature C, Study of Reading of Japanese Classics Literature D, Special Research, etc.
- Graduate level (doctoral programs): Special Research, etc.

\* In addition to the courses listed above, he or she may be asked to teach other general education courses and/or discipline specific courses in other department(s) and graduate school(s).

## 7. Qualifications

Applicants must satisfy all of the following requirements:

- (1) Hold a doctorate or an equivalent degree by the time the appointment begin
- (2) ● Hold more than one book (monograph) published and/or more than published ten academic papers (including more than three refereed papers) (in the case of Associate Professor)  
● Hold more than published three academic papers (in the case of Assistant Professor)

In addition to each position requirement described above, the applicant has to fulfill the Hiroshima University minimum standard, depending on the relevant field.

\* For each specialized field of faculty, Hiroshima University has defined Minimum standards for hiring new faculty ("the minimum standards"). We use the minimum standards for the initial screening process of the applicants, and only those who have cleared the minimum standards will qualify as the candidates for the post concerned. The minimum standards used for this international job offer can be viewed by clicking the following URL link.

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo/bungaku>

- (3) Applicants who are non-native speakers of Japanese must have the level of Japanese language proficiency necessary for them to be able to carry out their responsibilities and administrative duties effectively.
- (4) Ability to conduct classes and supervise the graduate students (master course).
- (5) Having a strong interest and understanding concerning the Japanese Language and Culture Education.

## 8. Application materials required

- (1) Resume (attached a recent photograph) One copy
  - 1) school career, employment career, affiliated academic society, address, e-mail address, etc. are to be given.

- 2) If you have a history of being employed by Hiroshima University (as a TA, RA, researcher, etc.) in the past five years, be sure to state all positions you have held.
- (2) List of publications and oral presentations (Number each publication/presentation, and underline the numbers of refereed articles. Affix an asterisk (\*) to the numbers of your five major publications or presentations.) In the list of oral presentations, the title of a paper, the name of a conference, and its date and place are to be specified.
- (3) Hard copies (original or offprint publications) of the five checked works with a summary (approximately 400 Japanese letters) for each of the major works are required.
- (4) Major educational activities and teaching experience
- (5) Major social contributions
- (6) Major activities in university/institutional management and administration
- (7) List of acquired external funding over the last five years
- (8) Statement of intent (Please describe your interests in teaching and research as well as your mid- to long-term research plan in approximately 2,000-3,000 words, should you take this position.)
- (9) Your Researcher ID or ORCID information (in any format)

N.B. The ID above or ORCID information can be confirmed from Clarivate Analytics or ORCID website.

\*All of the documents should be in Japanese. Applicants are requested to submit all documents in Word or PDF files on a CD-ROM or a USB memory stick, in addition to the hardcopies outlined above.

9. Application deadline: All application materials must reach us by [5:00 pm on Friday April 10, 2020 (Japan time)].

10. Please send all application documents to the following address:

Prof. Keiichi Kubota

Dean, Hiroshima University Graduate School of Letters

1-2-3 Kagamiyama, Higashi-hiroshima 739-8522, JAPAN

\* Print in red "Application documents for faculty open position in the Department of Japanese and Chinese Languages and Literatures, Graduate School of Letters" on the envelope containing the application documents and send it by registered mail.

11. Selection procedure

- (1) Selection will be made based on all application documents submitted.
- (2) Interviews will be conducted as needed. As a general rule, we will conduct

simulated lessons in English. In such cases, please note that travel expenses will be the responsibility of the applicant. Applicants who pass the initial document review will be informed of interview date, time and format.

- (3) Hiroshima University promotes a gender-equal society in accordance with the legislative intent of the Basic Law for a Gender-Equal Society.

#### 12. Employment status

- (1) If you are agreeable to the application of the Discretionary Labor System for Professional Work, you are deemed to work for 7 hours and 45 minutes a day and 38 hours and 45 minutes a week. If not, working hours are from 8:30 to 17:00 (from Monday to Friday) and break time is from 12:00 to 12:45.
- (2) Workdays are from Monday to Friday (excluding public holidays) in principle.
- (3) Holidays are Saturdays, Sundays and public holidays in principle.

#### 13. Salary, etc.

- (1) The monthly salary system or annual salary system will be applied to successful candidates.

\*Currently, we are considering a new annual salary system, and if the new system is introduced at date of adoption, it will apply.

- (2) Successful candidates may be reimbursed for travel expenses incurred for the trip from their home or former place of work to the new place of work to assume their post in accordance with the relevant regulations of Hiroshima University. For more information, please contact us.

#### 14. Evaluation

We conduct individual performance evaluations for all Hiroshima University faculty members after their employment, numerically rate their performance, and salary and benefits are commensurate with performance indicators.

#### 15. Employer: Hiroshima University

#### 16. Miscellaneous

- (1) Probationary employment period: six (6) months
- (2) Personal information obtained from application documents will not be used or provided to any third party for purposes other than the necessary procedures related to personnel affairs, salary, and welfare. Application documents of applicants whom we have decided not to employ will be returned to those applicants in an appropriate manner, after the completion of relevant selection processes.

- (3) All the faculty members of Hiroshima University belong to the "Academy", which is the single university-wide faculty organization, and each faculty as a member of the Academy of the University is appointed to educational and/or research organizations such as an individual undergraduate school, graduate school, research center and institute.
- (4) For each specialized field of faculty, Hiroshima University has defined Minimum standards for hiring new faculty ("the minimum standards"). We use the minimum standards for the initial screening process of the applicants, and only those who have cleared the minimum standards will qualify as the candidates for the post concerned. The minimum standards used for this international job offer can be viewed by clicking the following URL link.  
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/employment/kyoinkobo/bungaku>
- (5) HU provides employment information (research job, desk job and etc.).  
If your spouse wishes to work for HU, please refer to the following URL link.  
employment information: <https://www.hiroshima-u.ac.jp/en/employment/>
- (6) Our university aims at securing and nurturing excellent researchers and to be among the top 100 universities in the world. Towards this goal we plan to attract excellent young researchers and therefore diversify and broaden our age demographics, including female as well as foreign scholars. Therefore, we are particularly encouraging young researchers to apply at this time.

17. Contact(Japanese only)

Prof. Yoshinobu Senoo

Graduate School of Letters, Hiroshima University

1-2-3 Kagamiyama, Higashi-hiroshima, 739-8522, JAPAN

Tel: 082-424-6668

Fax: 082-424-0315

E-mail: [ysenoo@hiroshima-u.ac.jp](mailto:ysenoo@hiroshima-u.ac.jp)



2020 年 1 月 23 日

関係機関の長 殿

同志社大学グローバル・コミュニケーション学部

学部長 山本 妙

(公印省略)

教員の公募について（ご依頼）

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、この度本学部では、別紙のとおり教員を公募いたします。

つきましては、ご多用のところ恐縮に存じますが、貴職関係方面へ周知くださいますようお願い申し上げます。

以 上

## 英語任期付教員公募要領

1. 任用職名：助教、准教授、または教授
2. 担当科目：主として全学共通教養教育科目（英語）。および、グローバル・コミュニケーション学部専門科目。
3. 採用人員：1 名
4. 任用期間：2020 年 9 月 21 日～2025 年 9 月 20 日の 5 年間（任用期間満了後の契約更新はしない）
5. 応募資格：
  - （1） 英語を母語とする者。
  - （2） 英語教育または応用言語学の分野で修士以上の学位を取得している者。
  - （3） 3 年以上の英語の教育経験を有する者（大学レベル）。
  - （4） 校務遂行に必要な日本語運用能力を有する者。
  - （5） 近畿圏に居住できる者。
  - （6） 応募時点で 2 点以上の研究業績を有する者。
6. 義務時間および業務：
  - （1） 担当授業時間数は、1 週（5 日）8 コマを基準とする。
  - （2） 科目担当以外に、英語のカリキュラム運営に関する業務（教材作成、登録相談等）、各種委員会の参加、国際交流に寄与する業務、広報・入学試験関連業務（監督、問題作成、採点等）等を担当する。
7. 提出書類：
  - （1） 履歴書、業績書、および、学校法人同志社内における職務経歴報告書（該当する職務経歴がない場合も「なし」と記して提出）、各 1 通。書式は同志社大学ホームページを参照のこと。  
（ダウンロード可 <http://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>）
  - （2） 主たる研究業績 2 点以内（抜き刷り、コピー可。各々英語で 300 語以内の要約を付すこと）。
  - （3） 応募理由書（これまでの教育実績および今後の教育・研究計画について英語で 1,000 語程度、あるいは日本語 2,000 字程度にまとめたもの）を 1 部。
  - （4） 応募者について問合せ可能な照会先 2 件（氏名・所属・電話番号・E メール等）を 1 部。
  - （5） 学位証明書（修士、もしくは博士課程修了証明書）のコピー。
  - （6） TESOL の資格（diploma または certificate）を有する者は、その証明書類のコピーを 1 部。
  - （7） 日本語能力を証明する書類（日本語能力試験等）を有する者は、その証明書類のコピーを 1 部。
8. 応募締切日：2020 年 4 月 10 日（金）17 時までに必着のこと。
9. 提出先および問い合わせ先：〒610-0394 京都府京田辺市多々羅都谷 1-3  
同志社大学グローバル・コミュニケーション学部  
学部長 山本 妙

注) なお、封筒の表に「英語任期付教員応募書類在中」と朱書し、必ず書留便で送付すること（宅配便可）

※本件に関する問合せは、e-mail (jt-gcjm@mail.doshisha.ac.jp) でお願ひ致します。（電話での問合せはご遠慮ください。）

10. その他：

- (1) 選考の過程でその他の業績の提出を求めることがある。
- (2) 必要な時点で学位証明書等の原本の提示を求める。
- (3) 必要に応じて（英語および日本語による）面接を行う。また、模擬授業の実施を求めることがある。
- (4) 面接の際の交通費は、本学部の規定に基づいて支給する。
- (5) 選考結果については、選考終了次第、直接本人に通知する。
- (6) 上記7の提出書類は原則として返却しない。

提出いただいた書類は厳重に保管・管理し、審査終了後は責任を持って破棄します。  
また、提出いただいた書類に含まれる個人情報、個人情報保護法に基づき、選考以外の目的には使用いたしません。

以 上

**One Limited-term Contract Teaching Position, Beginning September 2020**  
**English Course Section, Faculty of Global Communications, Doshisha University**

**Position:** Assistant Professor, Associate Professor or Professor, depending on qualifications

**Courses:** 1) General English courses for all undergraduate faculties in the university  
2) Major courses for the Faculty of Global Communications

**Contract Period:** From September 21, 2020 to September 20, 2025 (non-renewable)

**Qualifications and Application conditions (All of the following must be satisfied):**

- 1) First language is English
- 2) Holder of a Master's degree or above in the area of English language education (TESOL), applied linguistics, or a related academic field
- 3) At least three years' English teaching experience at the university level
- 4) Sufficient Japanese proficiency for general administrative tasks
- 5) Resident of the Kinki area of Japan during the contract period
- 6) At least two academic publications

**Responsibilities:**

- 1) Teaching load: A minimum of eight classes per week, spread over five days
- 2) Administrative responsibilities: Involvement in curriculum design and planning; materials development; counselling for course registration; participation in designated committees; entrance exam development, proctoring, and scoring; contributions to Doshisha's international exchange programs; PR activities for recruiting new students (including demonstration lessons at some university events)

**Application materials:**

- 1) Curriculum Vitae (履歴書, *rirekisho*), a list of academic publications (業績書, *gyosekisho*), and a list of previous work experience within Doshisha schools (職務経歴報告書, *shokumukeireki-houkokusho*) [if not applicable, please write "NA" or "なし" in the form]. The necessary forms can be downloaded from the university website:  
<http://www.doshisha.ac.jp/doshisha/recruit.html>
- 2) One offprint/copy of each of two academic publications, with an English synopsis (up to 300 words) for each publication
- 3) Statement in English (about 1,000 words) or in Japanese (about 2,000 characters), explaining the reason for applying, including personal philosophy/comments regarding teaching methods
- 4) Names and contact information of two references (affiliation, phone number, e-mail address)
- 5) Copy of either Master's degree certificate or Doctorate certificate
- 6) Copy of TESOL diploma/certificate (if available)
- 7) Copy of document(s) certifying qualification at a certain level of the Japanese Language Proficiency Test (JLPT) or similar measurement of Japanese proficiency (if available)



**Deadline for application:** Application materials must arrive by 5 p.m., Friday, April 10, 2020, via registered mail (*kakitome*) or commercial parcel delivery (*takuhaibin*)

**Send applications to:** Professor Tae Yamamoto, Dean  
Faculty of Global Communications  
Doshisha University  
1-3 Tatara Miyakodani, Kyotanabe  
Kyoto 610-0394  
Japan

**N.B.** Please print “Application Documents (Contract)” in red on the face of the envelope

**Please note:**

- 1) After receipt of initial application materials, requests may be made for additional items
- 2) We may request to see original degree certificates/diplomas
- 3) Upon completion of initial screening procedures, final candidates will be interviewed in both English and Japanese, and may be asked to give a demonstration lesson
- 4) For those candidates who are requested to come to Doshisha for an interview, partial funding for transportation costs may be available according to the Faculty's regulations regarding such funding
- 5) Candidates will be directly notified of the results upon completion of the process
- 6) Application materials cannot be returned

\*For inquiry regarding this recruitment, please e-mail: [jt-gcjm@mail.doshisha.ac.jp](mailto:jt-gcjm@mail.doshisha.ac.jp)

Application materials will be retained by the Faculty of Global Communications and will be safely disposed of after the selection. Personal information will not be used for purposes other than the selection, according to the Protection of Personal Information Law of Japan